

質問書に対する回答

件名) 常磐自動車道 日立トンネル（上り線）補強工事

No.	質問事項	回答
1	<p>図面49/247 特記仕様書20-8 (2022年1月19日訂正)</p> <p>図面49/247の材料表（標準使用量）には、仕上塗料(下塗り)0.20kg/m²、仕上塗料(上塗り)0.16kg/m²と記載されており、塗料による仕上げとなっています。</p> <p>一方で、特記仕様書20-8には「JIS A 6909建築用仕上げ塗材のうち、薄付け仕上げ塗材、複層仕上げ塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの」と記載されており、構造物施工管理要領III-7-1-6（炭素繊維巻立て工法）の規定により、モルタル（1mm以上）による仕上げとなっています。</p> <p>どちらが正しいのかご教示願います。</p>	現在、内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	<p>図面49/247 (2022年1月19日訂正)</p> <p>図面49/247の材料表（標準使用量）には、プライマー、不陸修正材（パテ）、含浸接着材、仕上塗料(下塗り)、仕上塗料(上塗り)のm²当たりの標準使用量(kg/m²)が記載されていますが、使用する材料メーカーによって使用量が異なります。</p> <p>規格に適合した材料であれば、承諾により変更が可能と考えてよろしいですか。</p>	現在、内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	<p>特記仕様書20-11 (2022年1月19日訂正)</p> <p>設計要領第三集トンネル保全編（本体工）3-2-2小片はく落対策工及び3-2-3小片を超えるはく落対策工に規定する繊維接着系工法では、プライマー、不陸修正、含浸接着樹脂（下）、繊維シート（3軸ビニロン）、含浸接着樹脂（上）、上塗りという工程が例示されています。</p> <p>トンネルはく落対策性能を有すると証明されており、規格に適合した材料であれば、上記工程とは異なる工程であっても、承諾により変更が可能と考えてよろしいですか。</p>	そのとおりです。御社の施工計画に基づきお考えください。